

令和2年度 決算の概要

令和2年度の決算が、5月31日に開催された第205回組合会で承認されました。

令和2年度は、会計年度任用職員制度の開始に伴う組合員数の大幅な増加や、新型コロナウイルス感染症の感染拡大が収支に影響する決算となりました。

各経理の決算概要は次のとおりです。

●経理別収支決算一覧表

(単位:千円)

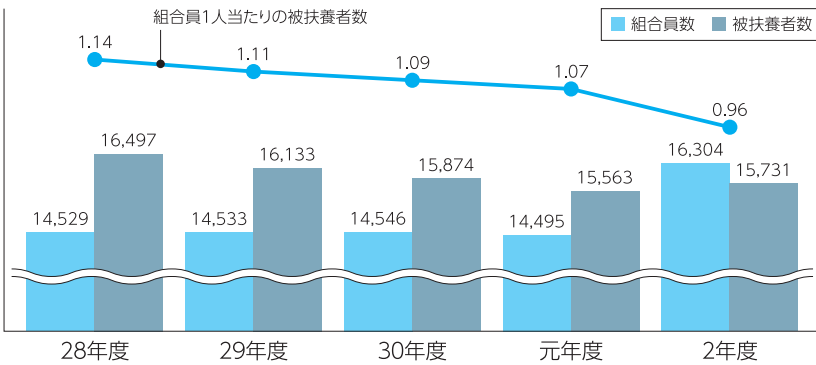
区分	収入	支出	当期利益金 (△当期損失金)
短期経理	10,026,065	9,517,789	508,276
	1,124,077	1,110,618	13,459
厚生年金保険経理	20,764,330	20,764,330	0
退職等年金経理	1,325,838	1,325,838	0
経過的長期経理	93,761	93,761	0
退職等年金預託金管理経理	21,244	21,244	0
経過的長期預託金管理経理	0	0	0
業務経理	283,243	276,157	7,086
	404,230	374,039	30,191
保健経理	5,256	5,256	0
	162,265	160,622	1,643
宿泊経理	643,691	669,316	△25,625
貯金経理	31,570	36,184	△4,614
貸付経理	4,997	7,668	△2,671
物資経理			

※短期経理の欄の上段は医療保険、下段は介護保険の収支を示す。

※保健経理の欄の上段は保健事業、下段はメンタルヘルス対策事業の収支を示す。

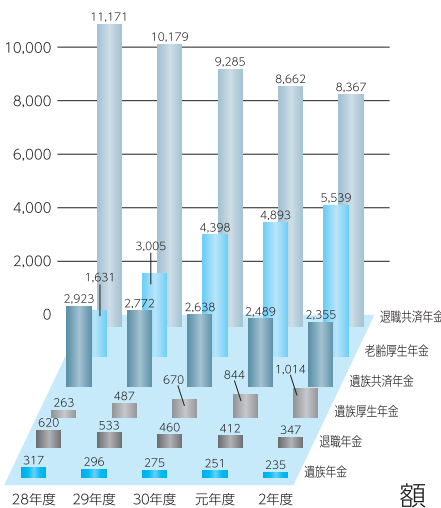
●組合員数と被扶養者数の推移(任意継続組合員を除く。)

(単位:人)



●年金種類別支給件数の推移

(単位:人)



●年金種類別支給件数・1件当たり金額

(単位:件数、円)

区分	支給件数	1件当たり金額
退職共済年金	8,367	1,225,200
遺族共済年金	2,355	1,271,495
退職年金	347	2,029,382
遺族年金	235	1,157,831
老齢厚生年金	5,539	906,877
遺族厚生年金	1,014	1,161,214

2年度は、9380万円を収納し、全額を全国連合会へ払い込みました。

この経理では、被用者年金一元化前に裁定された公務障害給付等に係る負担金を収納し、全国連合会へ全額払い込んでいます。

経過的長期経理

2年度は、207億6430万円を収納し、全額を全国連合会へ払い込みました。

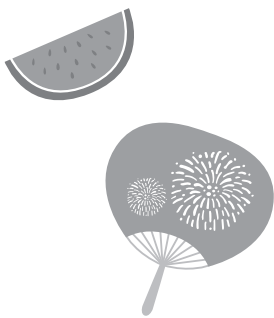
2年度は、13億2580万円を収納し、全額を全国連合会へ払い込みました。

厚生年金保険経理

この経理では、厚生年金給付等の原資となる組合員保険料・負担金を収納し、全国市町村職員共済組合連合会以下「全国連合会」というへ全額払い込んでいきます。

退職等年金経理

この経理では、退職等年金給付及び被用者年金一元化後に裁定された公務障害給付・公務遺族給付の原資となる掛金・負担金を収納し、全国連合会へ全額払い込んでいきます。



短期経理

この経理は、組合員及び被扶養者の医療給付及び出産・休業・災害などに係る給付、また、高齢者医療制度及び介護保険に係る資金の収納及び納付を行う経理です。

〈医療給付関係〉

2年度は、財源率を96.70%とし、前年度より2.52%引き上げた事業計画での運営となりました。

収入総額は、掛金負担金など100億2610万円で、財源率の引き上げ、高齢者医療運営円滑化等により前年度と比べ6億9500万円の増加となりました。

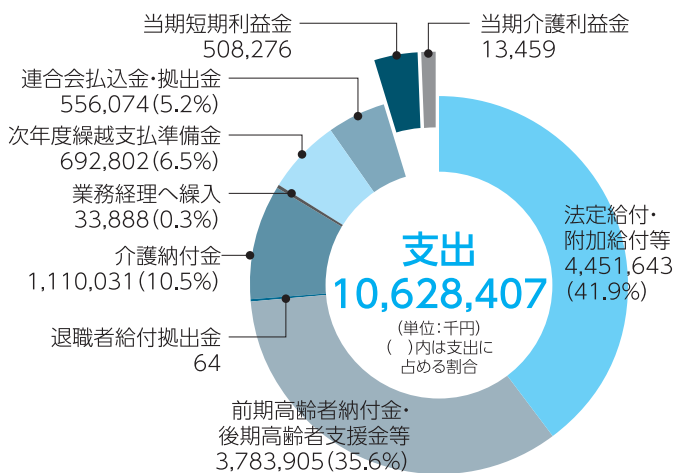
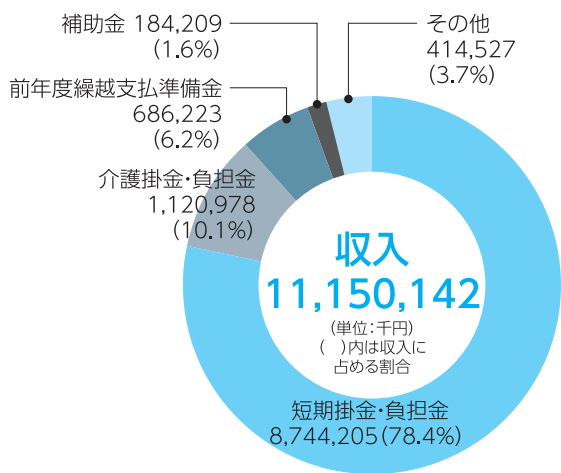
一方、支出総額は、前年度と比べ組合員の入院の増加等により療養の給付が1億3160万円増加したこと、高齢者医療制度への拠出金が10億7720万円大幅に増加したことなどの影響から、95億1780万円となり、前年度と比べ9億3610万円の増加となりました。

収支決算の結果、5億8300万円の当期利益金が生じたので、全額を積立金として積み立て、翌年度へ繰り越しました。

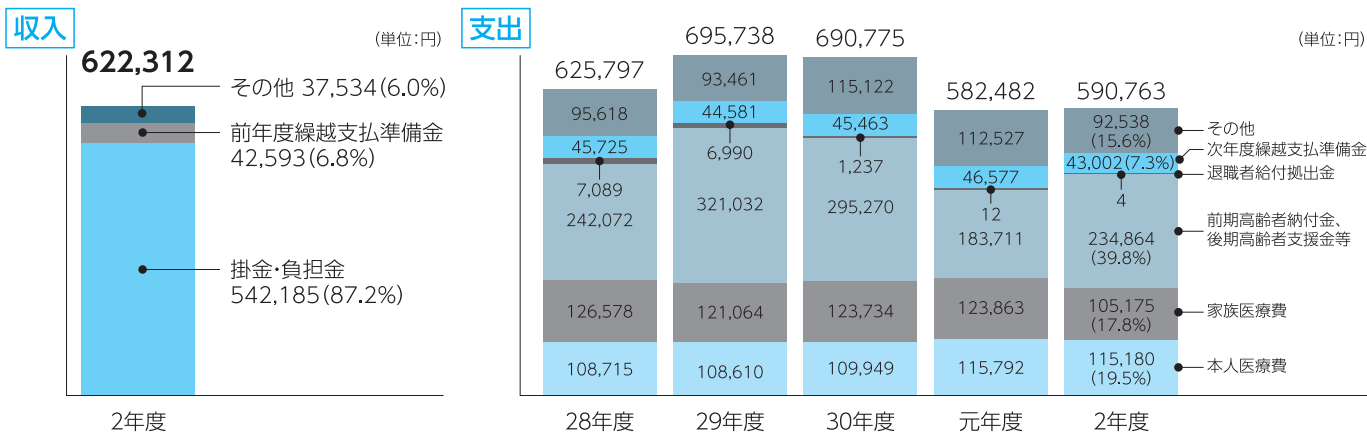
〈介護保険関係〉

※医療費の状況については、10Pをご覧ください。

2年度は、財源率を17.14%とし運営した結果、1350万円の当期利益金を計上しましたので、全額を介護繰越欠損金に充当し、なお生じる40万円は介護繰越欠損金として翌年度へ繰り越しました。



●組合員1人当たりの収入・支出(介護保険を除く。)内訳



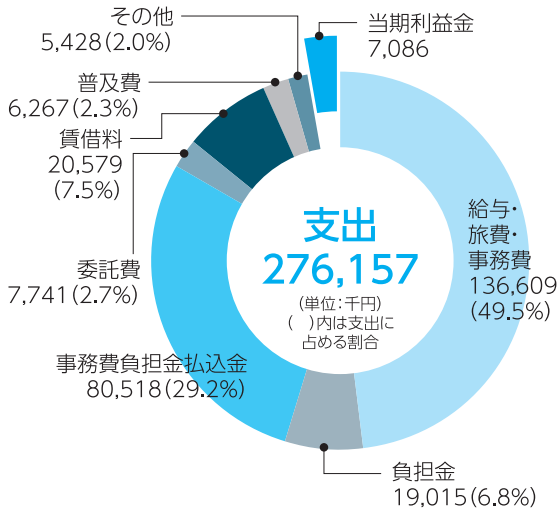
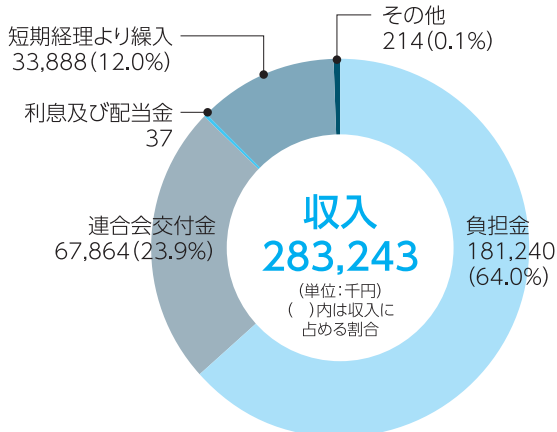
業務経理

この経理は、医療及び年金の給付を行うための事務費等を賄う経理です。

収入総額は、地方公共団体からの負担金、短期経理からの繰入金及び全国連合会からの交付金など2億8320万円となりました。

一方、支出総額は、2億7620万円です。新型コロナウイルス感染症の影響により旅費その他の諸経費が大幅に減少した結果、事業計画より2170万円の減少となりました。

収支決算の結果、710万円の当期利益金を計上しましたので、全額を積立金として積み立て、翌年度へ繰り越しました。

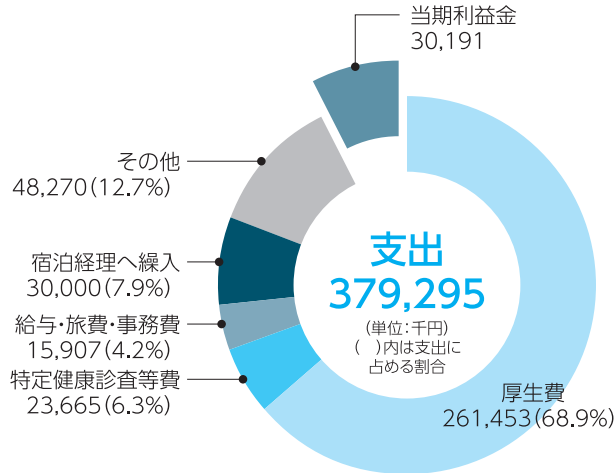
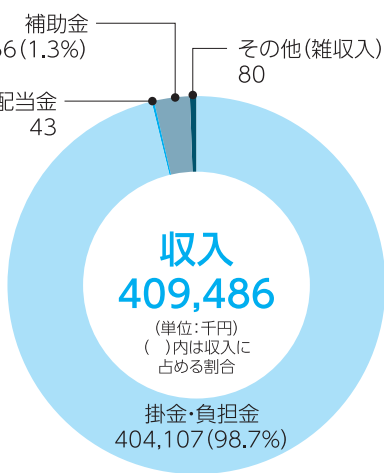


保健経理

この経理は、組合員及びその被扶養者の健康の保持・増進のため、人間ドック等の利用助成事業、特定健康診査・特定保健指導及びデータヘルス事業等を行う経理です。

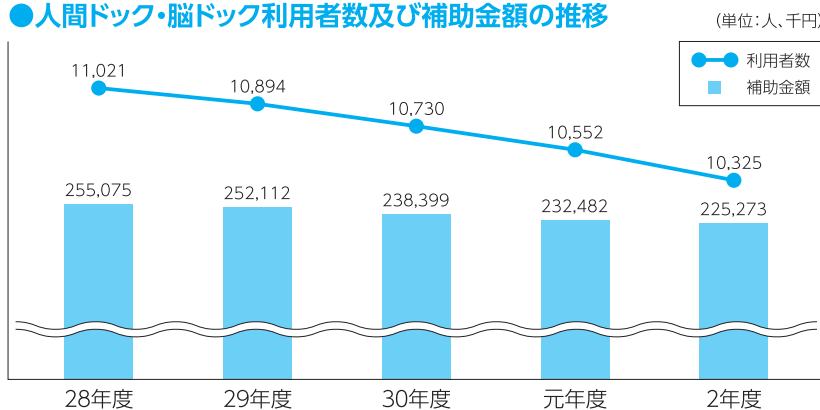
収入総額は、掛金・負担金など4億950万円となりました。

一方、支出のうち、人間ドック等の利用助成などの厚生費及び特定健康診査等費は、新型コロナウイルス感染症の影響により、例年と比べ利用者数が減少しており、前年度と比べ1660万円減少し、支出総額は3億7930万円となりました。



収支決算の結果、3020万円の当期利益金を計上しましたので、全額を積立金として積み立て、翌年度へ繰り越しました。

●人間ドック・脳ドック利用者数及び補助金額の推移



(備考) 1人当たり補助金額を平成28年度に27,000円から25,000円に、平成30年度に25,000円から24,000円に引き下げた。

●保健事業実施状況

項目	金額 (千円)	割合 (%)
人間ドック利用助成	219,316	76.9
脳ドック利用助成	5,956	2.1
特定健診・特定保健指導	23,665	8.3
愛媛共済会館利用助成	6,889	2.4
がん検診等補助	7,375	2.6
福祉施設利用助成	155	0.1
インフルエンザ予防接種補助	14,535	5.1
県・市町連携メンタルヘルス	5,219	1.8
その他	2,008	0.7
合計	285,118	100.0

宿泊経理

この経理は「えひめ共済会館」の経営運営を行う経理です。

収入総額は、施設収入や他経理からの繰入など1億6220万円、2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響による減収分を補う変更予算により、当初繰入予定額に加え、保健経理及び貯金経理から4900万円の追加繰入れを行いました。

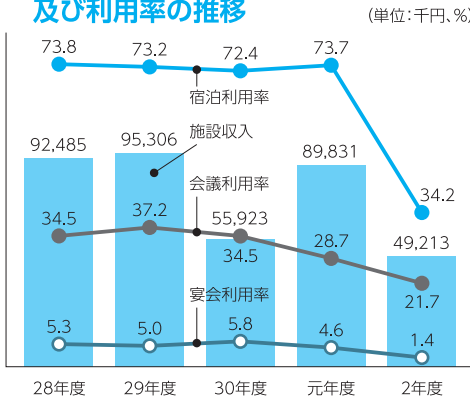
一方、支出総額は、1億6060万円となりました。

収支決算の結果、160万円の当期利益金が生じたので、全額を積立金として積み立て、翌年度へ繰り越しました。えひめ共済会館は、新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、安全・安心な施設として引き続き健全運営に努めてまいります。

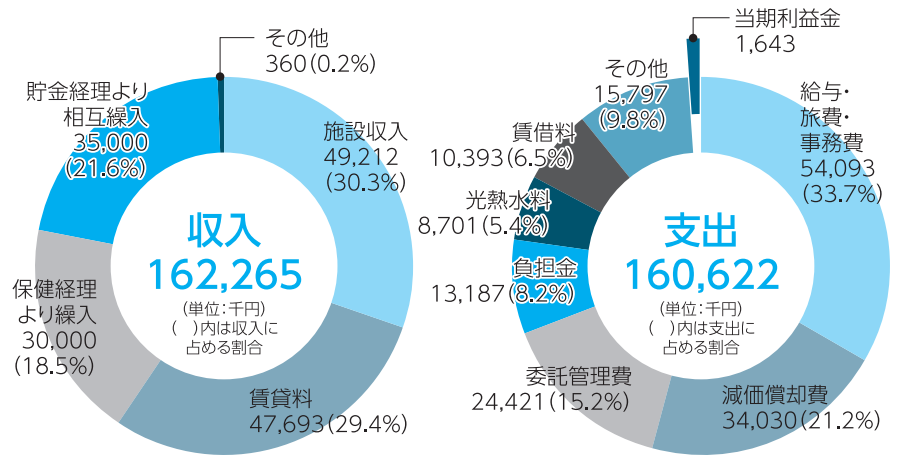
組合員の皆さまのご利用を職員一同心よりお待ちしております。



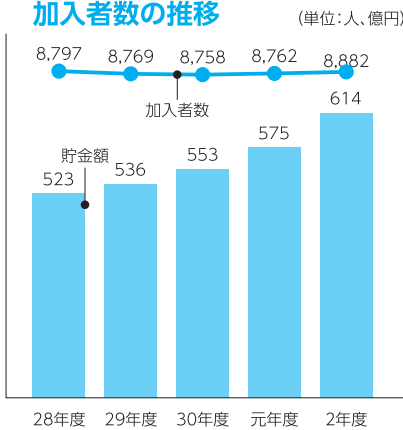
●えひめ共済会館施設収入及び利用率の推移



※平成30年度は改修工事のため7か月間の営業です。
 ※令和2年4月に新型コロナウイルス感染症拡大に伴う緊急事態宣言(全国対象)が行われました。



●組合員貯金額・加入者数の推移



この経理は、組合員の皆さまからお預かりした資金を安全かつ効率的に運用して、皆さまの生活設計に寄与するための貯金事業を行う経理です。

貯金者数は8882人で、組合員加入率は前年度から5.71%減少の53.90%となりました。

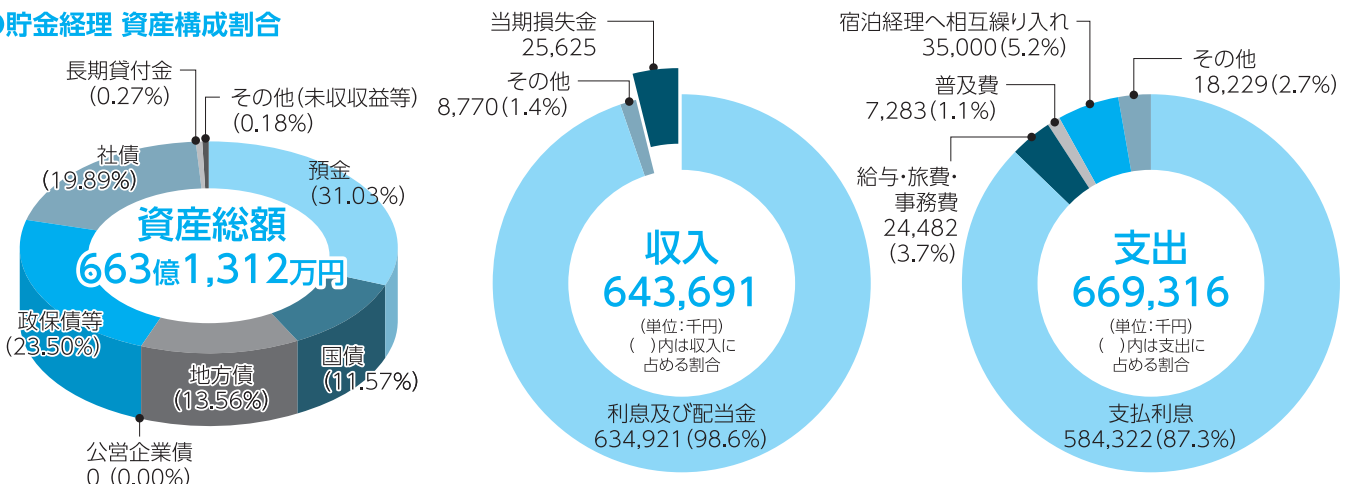
収入総額は、資金運用による利息及び配当金など6億4370万円で、前年度と比べ540万円の増加となりました。

一方、支出総額は、支払利息や宿泊経理への繰入金など6億6930万円となりました。

収支決算の結果、2560万円の当期損失金を計上しましたので、前年度から繰り越した積立金を取り崩して補ってまいりました。

貯金経理

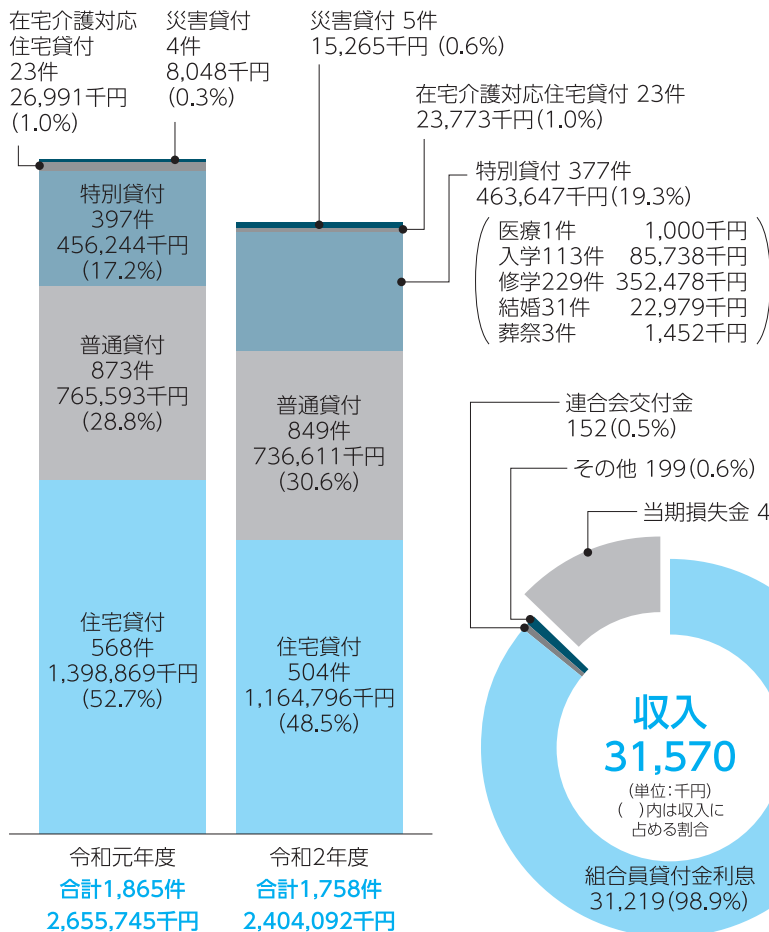
●貯金経理 資産構成割合



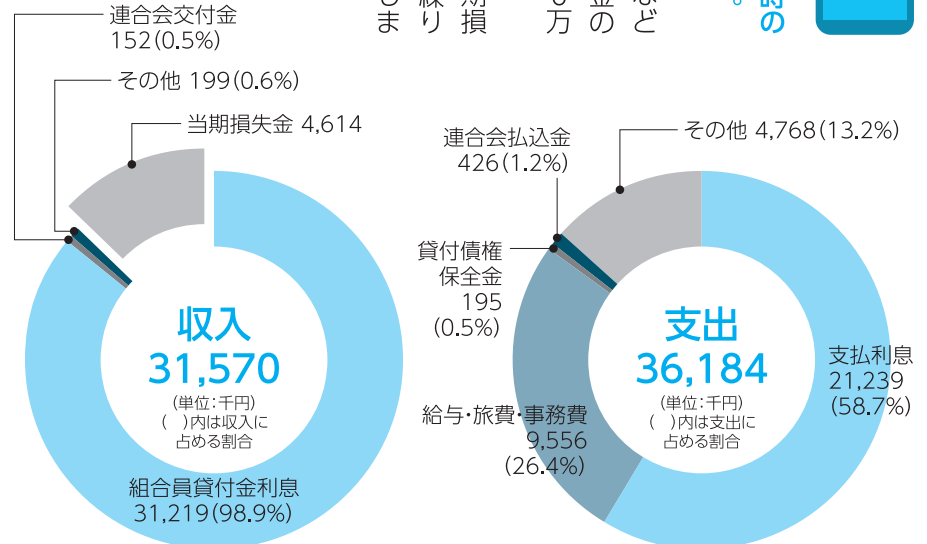
貸付経理

この経理は、組合員の皆さまの臨時の支出に対して貸付けを行う経理です。

●組合員貸付金の状況



収入総額は、組合員貸付金利息など3160万円、支出総額は、貸付資金の借入に対する支払利息など3620万円となりました。
収支決算の結果、460万円の当期損失金が生じたので、前年度から繰り越した積立金を取り崩して補てんしました。



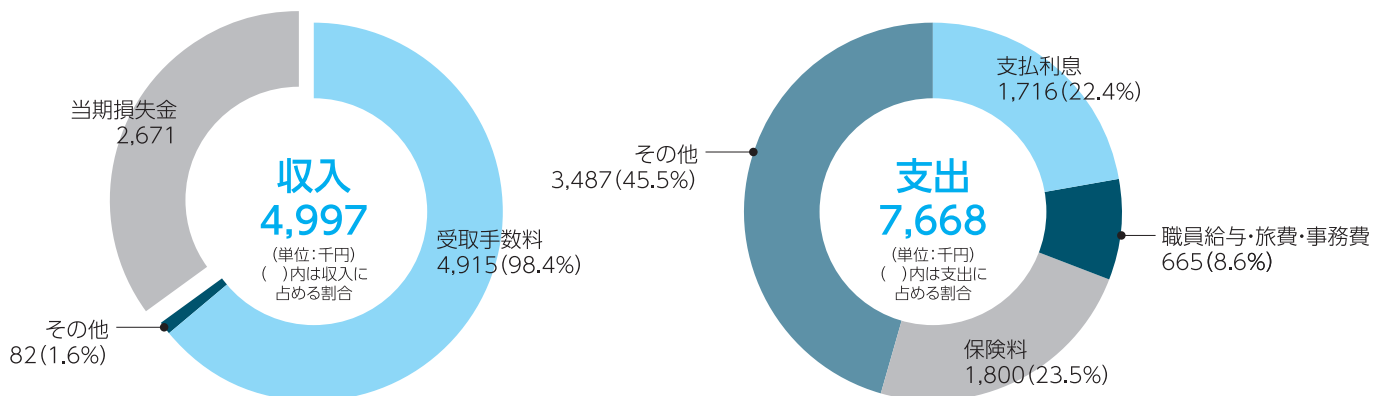
●物資供給事業販売状況 (単位:件、千円、%)

販売品目	件数	金額	割合
自動車	61	90,234	98.3
自動二輪車	1	520	0.6
家電製品	1	258	0.3
その他	1	759	0.8
合計	64	91,771	100.0

収入総額は、指定店からの販売手数料や物資利用組合員からの立替金利息など500万円となりました。
一方、支出総額は、支払利息や貸付事故に係る保険料など770万円となりました。
収支決算の結果、270万円の当期損失金を計上しましたので、前年度から繰り越した積立金を取り崩して補てんしました。

物資経理

この経理は、組合員の皆さまが本組合の指定業者から自動車等を購入する際に、購入代金を立替払いする事業を行う経理です。



退職等年金 預託金管理経理

この経理は、全国連合会から退職等年金給付に係る余剰金の一部の預託を受けて、組合員への貸付資金として管理・運用を行う経理です。

収入総額は、運用により生じた利息及び配当金など2120万円で、全額を全国連合会へ払い込みました。

資金運用に関する情報は、本組合のホームページで本年7月1日に公開しています。

経過的長期 預託金管理経理

この経理は、全国連合会から年金給付に係る余剰金の一部の預託を受けて、管理・運用を行う経理です。

この経理では、2年度以降、縁故地方債の引き受けのみを管理することとなり、2年度は縁故地方債の引き受けはありませんでした。